

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和2年1月10日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をいたします。

本日は、審査会合の関係からです。

1ページ目、2.審査会合、真ん中にございます。

1月14日火曜日、(1)第821回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは議題が1つですが、施設としては2つございます。

関西電力・大飯発電所3号機と4号機の工事計画認可に関し、緊急時対策所についての12月12日の認可申請の概要説明を受けるものです。これが1つ目。

もう一つは、四国電力・伊方発電所3号機の工事計画認可に関し、第3電源やガスタービンジェネレーターの設置についての昨年5月7日の会合のコメント回答を受けるものです。

続きまして、その下、(2)第13回実用発電用原子炉施設の廃止措置計画に係る審査会合、こちらは議題が4つございます。

議題の1つ目は、東北電力・女川原子力発電所1号機の廃止措置計画認可に関しまして、昨年9月19日と11月14日の会合に続き、今回も認可申請の概要説明を受けます。あわせて、9月、11月、これら2回の会合のコメント回答を受けるものです。

議題の2つ目は、九州電力・玄海原子力発電所2号機の廃止措置計画認可、また、1号機の廃止措置計画変更認可に関しまして、11月14日の会合に続いて認可申請の概要説明を受けるものです。また、この中では同じく11月14日の会合のコメント回答も受けます。

続きまして、議題の3つ目です。日本原電・敦賀発電所1号機の廃止措置計画変更認可と保安規定の変更認可に関しまして、廃棄物処理設備の新設に関する10月31日の認可申請の概要説明を受けるものです。

続きまして、議題の4つ目です。日本原電・東海発電所の廃止措置計画変更認可に課関しまして、取水路と放水路の閉塞についての11月21日の認可申請について、概要説明を受けるものです。

続きまして、1ページおめくりください。2ページ目です。上から真ん中のほうにあり

ます。1月17日金曜日、(5)第822回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは議題が大きく2つございます。

議題の1つ目は、九州電力・玄海原子力発電所3号機と4号機の設置変更許可に関しまして、敷地内の破砕帯に関する活動性評価の結果について説明を受けるものです。

議題の2つ目です。電源開発・大間原子力発電所の設置変更許可に関しまして、平成30年6月29日の会合で地下構造評価に関するデータの拡充を規制委員会から求めました。これを受けて、データを拡充した地下構造評価について、改めて説明を受けるものです。

最後となります。一番下「3.その他」、(1)国際原子力機関(IAEA)による総合規制評価サービス(IRRS)フォローアップミッションの実施、こちらはフォローアップミッションが1月14日火曜日から翌週の21日火曜日まで行われます。

下にございますとおり、所定の時間、場所において取材可能となっております。具体的には、1月15日水曜日のエントランスミーティング、21日のエグジットミーティングと合同記者会見、これらについて取材可能となっておりますので、よろしく願いいたします。

私からは以上となります。

#### < 質疑応答 >

司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。ヨシノさん。

記者 テレビ朝日、ヨシノです。

1点だけ。まず、1点なのですが、東京電力ホールディングスとの意見交換ということなのですが、中身については、ある程度固まりましたでしょうか。

児嶋総務課長 まだ資料が来ておりませんので、固まっておりません。

記者 一つお願いなのですが、最近、小早川社長が出てくると思うのですが、記者の質問とかにまともに答えないことが多くて、あるいは意図的かどうか分からないのですが、数字も間違えていたりとか、例えば、おととい水曜日でしたか、福島知事を訪問した後に、汚染水タンクの設置状況について、2022年の夏までに137万トンに拡大するというふうに言ったのですが、これはもう要するに、破綻するときに2022年夏というふうに政府も試算している話なので、そういう基本的事実を間違える人なのです。だから、我々もちょっとぶら下がりしていて頭にくることがあるので、きちんと事実に基づいた意見交換をちゃんとやっていただきたいと思います。

以上です。

児嶋総務課長 数字は正確に資料に全部書くように担当から要望します。

司会 ほか、ございますでしょうか。フクオカさん。

記者 日経新聞のフクオカです。

IAEAのフォローアップミッションなのですからけれども、14日から始まるのに、我々が取材させていただけるエントランスミーティングは15日で翌日というのは、何か理由があるのでしょうか。

児嶋総務課長 14日につきましては、このフォローアップミッションのチームそれぞれの各国からやってきて、初顔合わせをされます。その日に彼ら自身が自分たちの打ち合わせをするので、14日はそのために使われます。

記者 では、規制委員会に対しては何も14日はしないということですか。

児嶋総務課長 そういう意味では、規制委員会として彼らのロジ的な対応はありますけれども、実際の会合としての実際のフォローアップミッションを受けるという動作としては15日からになります。

記者 了解しました。ありがとうございます。

司会 ほか、ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

- 了 -